

3eConference® ver 6.3

議長用マニュアル (ASP 版)

2014 年 3 月

－第 1 版－



木村情報技術株式会社

目次

はじめに.....	- 3 -
第 1 章 議長権限について.....	- 4 -
1、自由会議モードと議長会議モード.....	- 4 -
2、議長になることでできる操作.....	- 4 -
第 2 章 議長専用の機能紹介.....	- 5 -
第 3 章 議長専用メニューの使い方.....	- 7 -
1、会議モードの変更.....	- 7 -
2、ミュート.....	- 9 -
3、映像同期化.....	- 10 -
4、レイアウト同期化.....	- 11 -
5、会議室の入室制限.....	- 11 -
6、録画の制限.....	- 12 -
7、プライベートチャット制限.....	- 12 -
7、ファイル転送制御.....	- 12 -
第 4 章 その他の機能について.....	- 13 -
1、参加者の映像設定の変更.....	- 13 -
2、参加者の発言申請やコントロール申請の操作.....	- 14 -
3、会議室内のファイルの削除（ドキュメント転送時のファイル）.....	- 14 -

はじめに

この度は弊社のインターネットテレビ会議システム 3eConference をご利用いただき誠にありがとうございます。

本書では 3eConference をご利用いただくにあたっての議長専用の機能説明についてご案内させていただきます。

3eConference は参加者のパソコンに専用のクライアントソフトをインストールしていただく必要がありますので、インストールがまだの方は別紙『3eConference インストールマニュアル』をご覧ください。指示に従ってインストールを行ってください。

また、一般的な操作につきましては別紙の『3eConference 操作マニュアル』をご覧ください。

第1章 議長権限について

3eConference には会議を円滑に進めていくために議長が用意されています。議長になるためには専用のパスワードを会議室に入室する時または会議の途中で入力する必要があります。

1、自由会議モードと議長会議モード

3eConference の会議には『自由会議モード』と『議長会議モード』があります。

◆自由会議モード

3eConference の通常の会議の設定で、議長がいても参加者が自由に発言したり資料に書き込んだりすることができます。ただし、議長から発言申請やコントロール申請をキャンセルされることはあります。

◆議長会議モード

議長によって管理された会議になります。発言申請やコントロール申請は議長に許可を得てからでないと行うことはできません。

2、議長になることでできる操作

議長になることで以下の操作が可能となります。

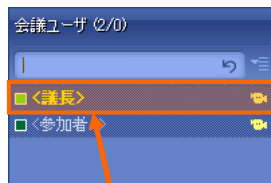
- ・自由会議・議長会議の選択
- ・参加者への発言申請、コントロール申請の振分け
- ・参加者全員の画面レイアウトを議長のレイアウトと同期させる。
- ・会議室のロック（ロックされた場合には新たに入室することはできません）
- ・参加者の強制退室
- ・チャットやドキュメント転送の許可・禁止
- ・参加者への録画・録音の許可と禁止（議長は常時録画・録音が可能です）
- ・参加者の映像設定の変更
- ・会議室内のファイルの削除

第2章 議長専用の機能紹介

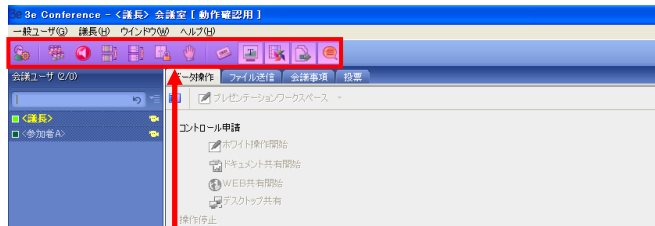
3eConference の会議室に入室した時の画面に表示されるメニューの説明です。

※議長専用メニューバー以外は別紙の『操作マニュアル』をご覧ください

◆会議室内画面

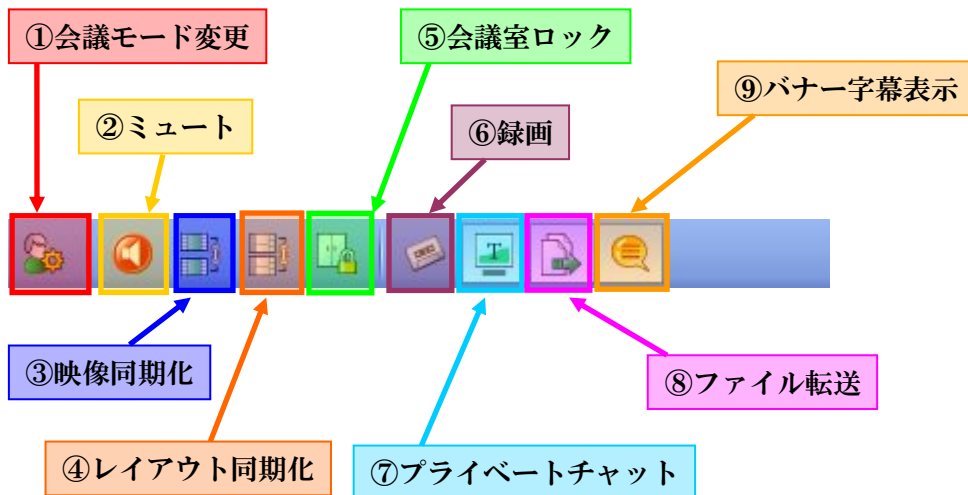


議長は名前が黄色で表示されます



議長専用メニューバー

◆議長専用メニューバー




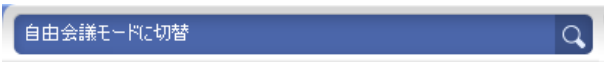


メニュー	モード	アイコン
①会議モード変更	自由会議モード	
	議長会議モード	
②ミュート	全てミュート	
③映像同期化	映像同期化	
	映像同期化解除	
④レイアウト同期化	レイアウト同期化	
	レイアウト同期化解除	
⑤会議室ロック	会議室ロック	
	会議室ロック解除	
⑥録画	録画許可	
	録画禁止	
⑦プライベートチャット	プライベートチャット許可	
	プライベートチャット禁止	
⑧ファイル転送	ファイル転送許可	
	ファイル転送禁止	
⑨バナー字幕表示	バナーや字幕の許可	
	バナーや字幕の禁止	

第3章 議長専用メニューの使い方

この章では議長専用メニューの使い方についてご案内いたします。

1、会議モードの変更

議長専用メニューの会議モード変更のアイコンをクリックしますと自由会議モード、議長会議モードに交互に切り替わります。通常会議室入室時には自由会議モードになっております。変更しますと会議画面の一番下にあるシステム情報バーにアナウンスされます。

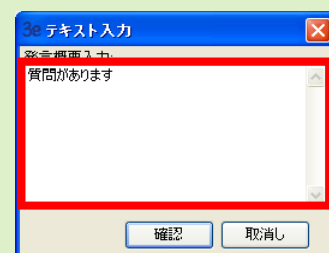
モード	アイコン	システム情報バー
自由会議モード		
議長会議モード		


自由会議モードの時は、参加者は自由に発言、操作権の取得が可能です。議長会議モードの時は議長に発言や操作権の許可を得る必要があります。

◆発言申請を行う場合の流れ

参加者側

参加者が発言申請ボタンをクリックしますと『テキスト入力』のウィンドウが表示されます。議長宛に発言したい旨のメッセージを入力し『確認』をクリックしてください。

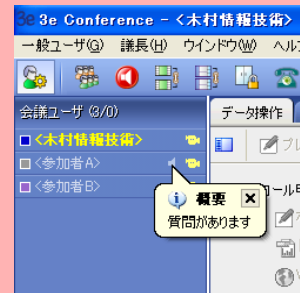


クリックしますと参加者リストの自分の名前にスピーカーのアイコン  が表示されます。あとは議長が許可するまで待機してください。※もし議長が気づかない場合には文字チャットに発言したい旨のメッセージを入力してください。

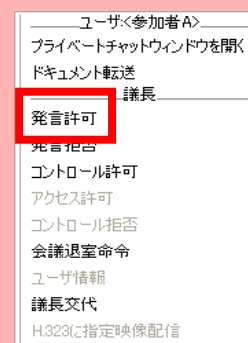


議長側

議長の画面には、右図のように参加者リストに
発言申請を行った参加者のメッセージがポップ
アップされます。



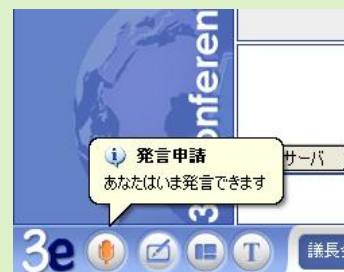
メッセージの参加者の発言を許可する場合には、
その参加者の名前を右クリックし『発言許可』を
クリックしてください。



参加者側

議長が許可しますと右図のように表示され発言が
可能となります。

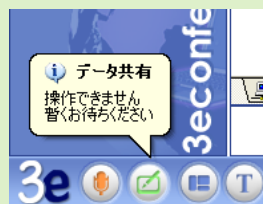
※誤って発言申請を停止してしまった場合には再度
議長にメッセージを送る必要があります。



◆操作権申請を行うまでの流れ

参加者側

操作権取得ボタンをクリックしますと
右図のように表示されます。
議長が許可するまでお待ちください。

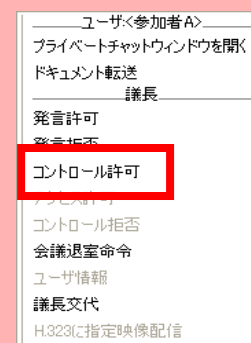


議長側

議長の画面には、右図のように操作権申請を行った参加者にアイコンが表示されます。
※発言申請と違い、ポップアップしません

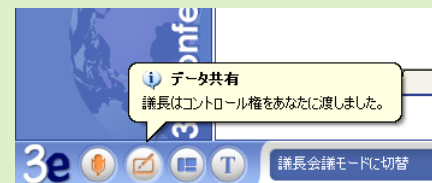


参加者の操作権申請を許可する場合には、その参加者の名前を右クリックし『コントロール許可』をクリックしてください。



参加者側

議長が許可しますと右図のように表示され操作権が取得された状態になります。
※誤って操作権申請を停止してしまった場合には再度議長に許可してもらう必要があります。




2、ミュート

議長以外の全ての参加者の発言を強制的に停止させることができます。

アイコン	システム情報バー
	<div>全てミュート</div>

◆ミュートの方法


議長専用メニューの『ミュート』ボタン  をクリックしてください。

クリックしますと全ての参加者の発言申請が強制的に解除されます。


※ミュート後に発言されたい方はそれぞれ発言申請を行ってください。

3、映像同期化

議長が任意で参加者の画面に各参加者の映像を表示／非表示にすることができます。

モード	アイコン	システム情報バー
映像同期化		議長により映像同期が開始されました、視聴映像は議長と同期になります 🔍
映像同期化解除		議長により映像同期が解除されました 🔍

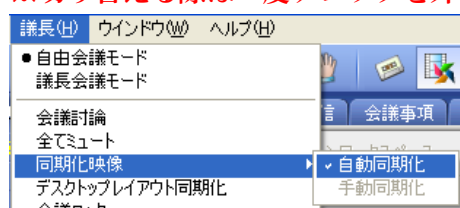
◆映像同期化の方法

議長専用メニューの『映像同期化』ボタン  をクリックしてください。
クリックしますと映像同期化が開始されます。

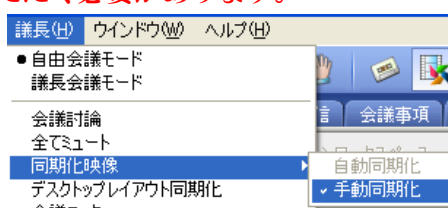
◆モードの種類と切り替え

映像同期化には「自動同期化」と「手動同期化」の2種類があります。
メニューから切り替えることができます。

※切り替える際は一度チェックを外していただく必要があります。



<自動同期化>



<手動同期化>

i)自動同期化

議長が表示させた映像が各参加者の画面に表示されます。

※画面レイアウトは同期されません。





ii)手動同期化

議長が表示させた映像は議長にのみ表示され各参加者の画面には表示されません。


※画面レイアウトは同期されません。

4、レイアウト同期化

議長が選択した画面レイアウトと参加者の画面レイアウトを同期させることができます。
この時、参加者は画面レイアウトを変更することができません。





モード	アイコン	システム情報バー
レイアウト同期化		
レイアウト同期化解除		

◆レイアウト同期の方法

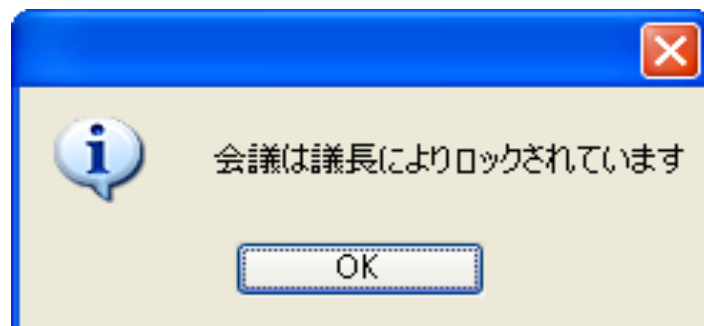
議長専用メニューの『レイアウト同期化』ボタン  をクリックしてください。
クリックしますと映像同期化が開始されます。これで議長がレイアウトを変更しますと参加者のレイアウトも同じように変更されます。

5、会議室の入室制限

会議室への入室ができないようにすることができます。
ロック以前に入室している参加者には影響はありません。


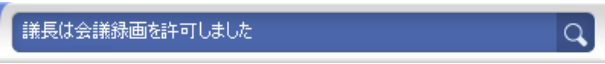

モード	アイコン	システム情報バー
会議室ロック		
会議室ロック解除		

※ロックされた会議室に入室しようとした場合は以下のメッセージが表示されます。







6、録画の制限

通常、会議室の様子を録画する場合は議長しかできません。他の参加者が録画をする場合には、議長が録画の許可をする必要があります。


モード	アイコン	システム情報バー
録画許可		
録画禁止		

7、プライベートチャット制限


会議室内での参加者同士のプライベートチャットを制限します。
ただし、議長は制限されません。

モード	アイコン	システム情報バー
プライベートチャット許可		
プライベートチャット禁止		

◆プライベートチャットの許可方法


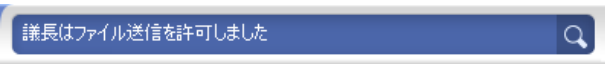


議長専用メニューの『プライベートチャット許可』ボタンをクリックしてください。

◆プライベートチャットの禁止方法


議長専用メニューの『プライベートチャット禁止』ボタンをクリックしてください。

7、ファイル転送制御


会議室内での参加者同士のファイル転送を制限します。ただし、議長は制限されません。

モード	アイコン	システム情報バー
ファイル転送許可		
ファイル転送禁止		

◆ファイル転送の許可方法

議長専用メニューの『ファイル転送許可』ボタン  をクリックしてください。

◆ファイル転送の禁止方法

議長専用メニューの『ファイル転送禁止』ボタン  をクリックしてください。

第4章 その他の機能について

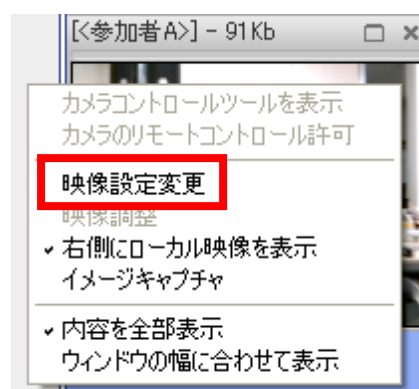
議長専用メニュー以外の機能についてご案内いたします。

1、参加者の映像設定の変更

議長は他の参加者の映像の設定を変更することが可能です。変更した状態は会議室から退室するか、変更された参加者が自分で設定を変更しない限り保持されます。

◆参加者の映像設定の変更方法

映像の設定を変更したい参加者の映像のところにマウスを移動させ、右クリックし『映像設定変更』をクリックして下さい。



『ビデオキャプチャ設定』のウィンドウが表示されます。変更したい項目を変更して『確認』をクリックしますと設定が反映されます。



2、参加者の発言申請やコントロール申請の操作

議長は他の参加者の発言申請やコントロール申請を操作することができます。

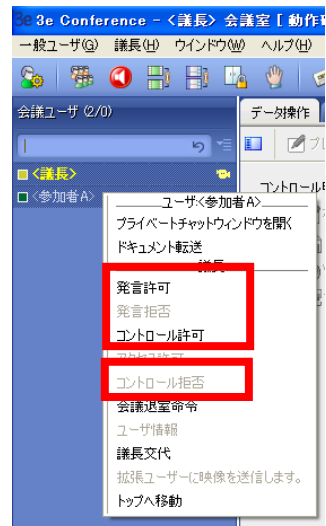
◆参加者の発言・コントロール申請を操作する方法

画面左の会議ユーザーから操作したい参加者の名前を右クリックしますとメニューが表示されます。

ここで発言許可・拒否で発言の操作を、コントロール許可・拒否でコントロール申請の操作を行うことができます。

発言申請を停止忘れた場合や、コントロール申請を解除する時などに使います。

また、強制的に発言させたい時にも使用します。



3、会議室内のファイルの削除（ドキュメント転送時のファイル）

プレゼンテーションエリアに共有した資料は、コントロール申請を取得することで誰でも削除することができますが、ドキュメント転送でやりとりしたファイルは議長しか削除することができません。

◆ファイル削除の方法

画面左上の議長（H）をクリックしますとメニューが表示されます。

『ファイル削除』をクリックしますと画面下に『議長は全てのドキュメントを削除します』と表示されて会議室内のファイルは削除されたことになります。

